

商売のリアル、あったかさ再発見

11・4大阪商工交流会 ニュース

第1号 2024.10.4 大商連発行

報告者紹介&魅力・聞きどころ特集!



大企業頼みの成長至上主義により日本は衰退し、気候危機など世界的課題からも取り残されています。地域経済の発展と一体に課題解決に取り組むことが必要で、中小業者ぬきになし得ません。コロナ後の商売の実態を交流し、役割・価値を再確認することで、経営の方方向性・展望を掴みます。

全体会 13:30~15:25

会場:エル・おおさか本館6F大会議室

講演 『断熱』が日本を救うー地域経済の持続的発展をー

まさき
講師 高橋 真樹 さん

1973年東京生まれ。日本唯一の「断熱ジャーナリスト」。
著書『断熱』が日本を救うが好評。しんぶん赤旗でも連載。



今年の夏は猛暑続きの例年をさらに上回る酷暑となりました。高橋さんは「この気候は、もはや異常気象ではなくこれが当たり前となり、来年以降もっと厳しい夏がくる」と話しています。再生エネルギーについて長年取材してきた高橋さんが、いま実践的に取り組んでいるのが「断熱」住宅です。エコハウスでの宿泊体験に衝撃を受け、家全体を「断熱」している高橋さんのお宅は、どんな暑い日も寒い日も、一定の室内温度と湿度が保たれていて、とても快適だと語ります。

講演では、住宅の断熱性能が悪いことでどんな問題が起きているかについて、ヒートショックなど家族の健康や家計にやさしいなど経済に焦点をあてて話してもらいます。また住宅を新築したり断熱改修したりするときのポイントなどにも触れていただきます。さらに断熱・機密を通して社会的課題の解決にチャレンジする実践例なども紹介してもらいます。

建物の断熱化を強化することは、気候変動をはじめとする環境問題や、日本のエネルギー問題を改善する切り札として、ますます重要となってきています。国や自治体はどのような政策を取ればよいのかについて、鳥取県の取り組みなども紹介します。断熱改修を担う中小業者の役割に触れてお話しいたします。

分科会① 15:30~17:30 断熱と耐震で仕事おこし 会場(全体会場と同じ)

地域で断熱、耐震工事を行っている実践例、京都市に耐震工事助成制度を作らせた運動を交流します。

◇報告者①



住吉民商 : 堀内正勝さん
(株)シマズ・ビルド
総合建設



住吉 : 松本 信さん
(株)山喜
窓・サッシ、テラスなど

●二重窓施工で、お客から喜びの声

堀内さんと松本さんは30年来の付き合い。堀内さんが地域の個人客を中心に仕事を受け、松本さんが窓に関わる工事を施工しています。

最近多いのが窓の断熱改修工事。内窓を設置した場合など、国や自治体から補助金が出たため相談が増えています。お客からは「電気代が下がった」「快適で防音対策にもなる」などの声が寄せられ、追加工事の依頼も少なくありません。

堀内さんは「地域で仕事をすれば、お客の喜ぶ顔が近くで見られるし、現場が近いので良いことばかり。脱炭素は時代の要請であり、本気で取り組むことが必要。大手は新築を喜んでやるが、既存住宅は『図面がない』『違法建築』などの問題があって大変。そこを地域の建設業者が担っていければ。」と話します。

松本さんは「既存住宅の断熱窓工事は窓の採寸が重要。内窓を設置できる幅はあるか、既存窓の鍵(クレセント)の状況はどうかなどを確認し、その家にあった窓を提案する。ポイントを押さえれば、地域の工務店でも施工できるはず」と話します。

◇報告者②



阿倍野民商：奥田文夫さん
奥田建設
建築工事

耐震シェルター



●お客さん要望で耐震シェルターを施工

奥田さんは職人5人を抱える地域密着の建設業者。今年、20年以上の付き合いのある86歳の女性(単身)から「耐震シェルター」の相談を受けました。これまで家具の固定工事など奥田さんが手がけてきましたが、能登地震を受けていよいよ寝室にシェルターを設置したいとの話でした。

しかし、女性は「市販のものは重い鉄骨が送られてくるだけ。組み立て・設置作業が必要で、設置できたとしても築90年の基礎が耐えられるのか疑問」でした。奥田さんに相談すると「それなら私がやるよ!」と言ってくれました。奥田さんは6畳の寝室の一角の床を切り抜き、基礎を新たに作り、構造物が浮き上がらないよう四隅の柱を基礎の下からボルトで固定しました。また、上から10トンの落下があっても耐えられるよう厚み50cmの天井、壁は横揺れに備え40cmの厚板に。将来も見据え、介護ベッドが収まる幅にし、内装は聚楽のクロスなど癒しの空間となるよう工夫しました。

◇報告者③



全京都建築労働組合
山田秀和さん
秀久工務店 一級建築士事務所

京都市の
耐震補助制度



●耐震助成制度つくらせ仕事おこしに

京建労は今年2月の京都市長選挙で2年前に休止された耐震リフォーム助成制度「まちの匠」の復活を求め運動しました。推薦候補は敗れたものの「まちの匠・ぷらす」として予算額1.7倍で復活させる成果を得ました。

副執行委員長の山田さんは「まだまだ制度の課題はあるが、対市交渉や選挙運動などを重ね、復活させたことは大きい」と話します。全面改修だけでなく、屋根・床・壁・基礎などの部分改修やシェルター設置、防火改修も補助の対象になるので、組合員からは「元々半面のみという話だった屋根の吹き替え工事が、制度利用で全面的仕事に」など喜ばれています。助成金の申請も簡単で、申請当日に大よその結果が分かり、交付額決定までもスムーズだそうです。京建労では耐震診断の技術研修にも取り組んでいます。

大阪商工交流会2024

とき:11月4日(祝・月)

13:30-17:35

ところ:エル・おおさか本館6階大会議室

参加費:500円(どなたでも参加OK)

【他にも魅力いっぱいの分科会】

分科会② こだわり・つながり + チャレンジ

分科会③ 地域を灯す飲食店

会場 エル大阪



▼アクセス

- ・地下鉄谷町線「天満橋」2番出口徒歩5分
- ・京阪「天満橋」東出口徒歩5分

参加申込

民商名()

参加×切 10/25まで

	氏名	いずれかに○	希望する分科会(いずれかに○を)
1		会員・役員・事務局・その他()	① ・ ② ・ ③
2		会員・役員・事務局・その他()	① ・ ② ・ ③
3		会員・役員・事務局・その他()	① ・ ② ・ ③
4		会員・役員・事務局・その他()	① ・ ② ・ ③
5		会員・役員・事務局・その他()	① ・ ② ・ ③